

基本計画 第2章

重点施策

重点施策 「強みを活かしたしごとづくり」

重点施策 「子どもを産み育てやすい環境づくり」

重点施策 「高齢者がいきいきと暮らすまちづくり」

重点施策 「安心・安全に暮らせるまちづくり」

重点施策 I

強みを活かしたしごとづくり

【関係部】市長室、企画政策部、産業振興部、まちづくり政策部、都市整備部

基本的な方向性

人口減少社会がもたらす地域経済の縮小化の中で、持続的な経済成長を促進するため、地域において中核的な役割を果たす産業を中心に、先端技術の導入や生産性の向上の取組を支援し、地域経済の基盤となる産業を振興します。また、商業、工業、農業、漁業、観光の各産業の強みを活かし、起業の促進や事業拡大のための施策を展開し、他地域との知的対流^{*}の推進や産業間の連携を促進することで新たな事業の創出を目指します。

数値目標

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
創業者数【年間】	9人	22人	20人	52人
工場等の新設や増築を行った企業数 ^{*1} 【累計】	5件	19件	20件	35件
知的対流推進事業等を通じた交流人口（年間）	—	0人	—	130人
農地利用集積面積 [*] 【累計】	105ha	122ha	120ha	142ha
入込観光客 [*] 数【年間】	707万人	755万人	736万人	770万人

^{*}1：平塚市企業立地促進補助金交付要綱に基づく助成措置を承認した件数

基幹産業の競争力を強化する

基本的な方向性

本市の経済をけん引する中核的な産業である製造業の設備投資や小売業等の魅力ある個店づくりを推進し、特色を活かした商店街づくりを支援することで、生産性向上に向けた取組、雇用創出や事業の拡大を促します。また、事業者と大学などの研究機関が共同して行う技術開発等を支援するとともに、ビジネスチャンスの創出に向けた取組を進めます。さらに、中心市街地の特色を活かしたまちづくりを支援するとともに、新たな産業拠点の形成を通じて、雇用機会の拡大を図ります。

重要業績評価指標（KPI）※

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
事業拡大や新技術・新商品等の 相談・紹介件数【年間】	44 件	63 件	50 件	65 件
魅力化実施店舗※数【累計】	10 店舗	46 店舗	50 店舗	82 店舗

主な取組

- 企業の施設整備や新規雇用に対する支援
- 販路拡大や産学公※の連携強化の支援
- 魅力的な個店、商店街づくりや中心市街地活性化に向けた支援
- ツインシティ整備の推進

SDGsの目標との関連



多様な担い手が活躍する機会をつくる

基本的な方向性

起業家に対して、創業から経営安定に至る一連の取組を充実させます。また、各産業の担い手に対して、本市の持つネットワークを活かし関係機関と連携の充実を図りながら、中小企業のライフステージに応じた様々な経営課題への支援や先端技術を活用した取組等を進めることで事業展開ができる環境を拡充します。さらに、新規成長分野に取り組む事業者に対して、知的交流*を通じたイノベーション*等の誘発を図ることで、地域経済の活性化につなげます。

重要業績評価指標（KPI）*

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
創業支援件数【年間】	93件	206件	180件	212件
新たな農の担い手数【累計】	8人	49人	38人	89人

主な取組

- 起業家や担い手（農業者・商業者等）の育成支援
- 中小企業者に対する販路開拓の支援や融資・経営改善の相談
- 円滑な事業承継の促進
- 「知」の集積と活用による知的対流*の可視化

SDGsの目標との関連



地域資源を活用した新たな事業を創出する

基本的な方向性

各産業の強みを活かし、分野横断的なネットワークを活用した支援により産業間連携や6次産業化※を推進することで付加価値向上を促します。また、地域資源を活用した着地型の観光や新港周辺の賑わいを創出することにより、本市産業のさらなる活性化と新たな事業につなげます。さらに、ひらつか海岸エリア魅力アップチャレンジ※に基づき、龍城ヶ丘ゾーンの公園整備に取り組み、自然と調和しつつ「海」を活用した賑わいの創出や来園者等への情報発信により、産業の活性化等に寄与します。

重要業績評価指標（KPI）※

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
産業間連携ネットワークによる新商品開発・新事業創出件数（累計）	—	13件	16件	28件
市外の観光キャンペーン等への参加回数【年間】	10回	21回	15回	25回

主な取組

- 産業間の連携の場の創出
- 新事業の創出や商品開発と販路拡大の支援
- 市民団体との協働による着地型観光の推進
- 新港周辺の賑わいの創出に向けた取組の推進
- 湘南海岸公園龍城ヶ丘ゾーンの公園整備

SDGsの目標との関連



重点施策Ⅱ

子どもを産み育てやすい環境づくり

【関係部】総務部、産業振興部、市民部、健康・こども部、学校教育部、社会教育部、市民病院

基本的な方向性

周産期医療^{*}や小児救急医療の体制を維持・継続することで、安心して出産・子育てできる環境づくりを目指します。また、結婚や出産後も継続した就労ができるように仕事と生活の調和を促進し、子育てにかかる負担を軽減するとともに、地域や学校での子どもの成長の支援や見守りを通じて、子どもが安心して暮らせる環境づくりを目指します。

数値目標

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
合計特殊出生率 [*] (人口動態統計)	1.32	—	1.42	1.51

出典：人口動態保健所・市区町村別統計（厚生労働省）

（参考指標）

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
合計特殊出生率 (神奈川県衛生統計年報)	1.25	—	—	1.42

出典：神奈川県衛生統計年報

若い世代の結婚・出産を支援する

基本的な方向性

結婚や出産の希望をかなえるために、経済的・精神的な安定を支援し、若いうちに子どもを産み育てることができるようにするとともに、乳幼児を持つ家庭への訪問、産前・産後の育児・家事支援、相談事業など、妊娠・出産・育児期における不安の軽減を図り、切れ目のない支援を行います。また、誰もが仕事と生活の調和のとれた働き方ができる社会に向けて取組を進めます。

重要業績評価指標（KPI）※

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
乳児家庭全戸訪問の訪問率【年間】	93.3%	96.1%	95.4%	97.0%
産科・小児科（周産期）の救急当番実施率	-	100%	-	100%
妊婦健診の受診率【年間】	95.5%	95.9%	96.9%	98.0%
子育て世代包括支援センター※の利用者数【年間】	-	2,531人	-	3,244人

主な取組

- 妊婦・乳幼児の健診・教室や相談事業などの実施
- 就職に向けた活動の支援や働き方改革（ワーク・ライフ・バランス）に取り組む企業への支援
- 周産期医療の体制維持と継続実施
- 産前・産後ヘルパーによる育児・家事支援の実施
- 妊娠・出産を希望する人に対する支援

SDGsの目標との関連



安心して子育てができる環境をつくる

基本的な方向性

安心して子育てができるようにするため、保護者の仕事と育児の両立を支援するとともに、経済的・精神的な負担の軽減を図ります。また、高まる保育ニーズに対応するため、施設整備と保育士確保の両面から保育環境の充実に向けた取組を進めます。

重要業績評価指標（KPI）※

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
保育園等の待機児童数	0人	22人	0人	0人
放課後児童クラブ※の待機児童数	2人	0人	0人	0人

主な取組

- ファミリー・サポート・センター※の運営
- 保育所等の運営・施設整備への助成
- 民間保育所保育士確保の支援
- 幼児教育・保育の一体的な提供
- 放課後児童クラブの設置
- 子どもの通院・入院時の医療費の助成
- 小児救急医療の体制維持と継続実施
- 特別保育※の拡充

SDGsの目標との関連



子どもの健やかな成長を支援する

基本的な方向性

地域・保育所・学校において、育児支援、学習支援・施設整備、相談しやすい環境を整え、子どもの成長につながる機会・体制を充実します。

重要業績評価指標（KPI）※

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
子育て支援センター※・つどいの広場※の子どもの平均利用回数【年間】	-	4.3回	-	4.5回
介助員※数	76人	115人	85人	130人
目標値（2023）について、調整中				

主な取組

- 地域子育て支援拠点事業の推進
- 子どもの相談・生活助言・学習支援や適切な支援へのつなぎ
- 学校施設の改修による学習環境の改善
- 中学校完全給食※の早期実現に向けた取組の推進

SDGsの目標との関連



重点施策Ⅲ

高齢者がいきいきと暮らすまちづくり

【関係部】市民部、福祉部、健康・こども部、社会教育部

基本的な方向性

地域住民が世代や立場を越えてつながりを持ち共に支え合う「地域共生社会^{*}」の実現が求められ、「人生100年時代^{*}」を迎えようとする中、早期からの健康増進や介護予防、外出の促進や活躍の場の確保、生活基盤の充実などに取り組むことで、高齢者になっても充実した多様なライフスタイルを選択し、安心して元気で生きがいを持って暮らし続けられるまちを目指します。

数値目標

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
要介護認定を受けていない市民の割合（75歳～79歳）	90.3%	91.8%	90.8%	93.1%
高齢者サロンの参加者数【年間】	43,507人	175,164人	61,000人	189,500人

高齢者が活躍する機会をつくる

基本的な方向性

長年培った技術や知識を活かしたボランティア活動や余暇活動など、様々な形で高齢者の社会参加や自治会活動などの地域貢献を支援します。また、就労を希望する高齢者がそれぞれにあった働き方で活躍できる環境の整備を進めます。

重要業績評価指標（KPI）※

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
地域で奉仕活動等を行っている高齢者の数【年間】	—	25,527人	14,000人	28,500人
町内福祉村※ボランティア登録者数	1,563人	1,945人	2,100人	2,500人
地区公民館の地域人材講師の新規登録者数【累計】	—	12人	—	60人

主な取組

- 高齢者の地域貢献活動や余暇活動の支援
- 多様化する高齢者の就労に関する支援
- 住民相互の支え合いや交流活動の活性化の支援

SDGsの目標との関連



健康寿命を延ばす取組を推進する

基本的な方向性

高齢期になっても可能な限り介護を必要とせず、健康な心と身体を維持できるよう、健診結果や病歴を踏まえた生活習慣病の早期発見と重症化予防など早期からの健康増進や、加齢に伴い現れる生活機能の低下の予防など、健康寿命*の延伸を支援する取組を進めます。

重要業績評価指標（KPI）*

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
健康チャレンジリーダー*養成者数【累計】	—	96人	100人	180人

主な取組

- 健康寿命の延伸に向けた健康増進と介護予防の推進
- 早期から健康情報を見極める力の養成
- 特定健診・がん検診の受診率向上

SDGsの目標との関連



高齢者が地域で安心して暮らせる環境をつくる

基本的な方向性

高齢者の生活支援等を通じた孤立の防止や見守り体制の整備など、高齢者の生活基盤の整備に取り組むとともに、医療と介護の連携推進、成年後見制度*の利用や虐待の防止などを進め、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境をつくります。

重要業績評価指標（KPI）*

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
認知症サポーター*養成者数【累計】	10,252人	20,794人	13,800人	33,500人
成年後見制度出張講座等参加者数【累計】	270人	2,773人	2,270人	5,600人
医療・介護多職種連携研修参加者数【年間】	—	397人	—	800人

主な取組

- 地域包括ケアシステム*の深化・推進
- 高齢者の生活基盤を支える施策の検討
- 共生と予防を目指す認知症総合施策の推進
- 介護保険サービスの円滑な実施のための人材確保
- 権利擁護*推進体制の構築
- 地域医療福祉拠点整備モデル地区構想*の推進

SDGsの目標との関連



重点施策Ⅳ

安心・安全に暮らせるまちづくり

【関係部】市長室、市民部、まちづくり政策部、土木部、消防本部

基本的な方向性

地域の防災・防犯・交通安全活動を支援します。また、災害の被害を最小限に抑えるために、建物の耐震化や浸水対策等の減災^{*}・防災対策に取り組むとともに、犯罪や消費者被害の防止及び交通安全対策により、安心・安全なまちづくりを進めます。

数値目標

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
地域団体等が実施する防災訓練数【年間】	302回	407回	332回	422回
総合浸水対策 [*] （第2次実施計画）を実施した重点対策地区数【累計】	—	0地区	—	12地区
窃盗犯の発生件数 ^{*1} 【年間】	981件	686件	880件	640件
交通事故の発生件数【年間】	1,265件	843件	970件	740件

1：空き巣、忍び込み^{}、居空き^{*}、オートバイ盗、自転車盗、ひったくりの発生件数

災害に強い地域づくりを推進する

基本的な方向性

地域住民や地域住民により組織された防災関係団体と行政が協働し、防災意識を高め、自助・共助・公助^{*}の連携により災害から身を守ることができる地域づくりを推進します。また、被災後の避難生活の支援や円滑に生活再建を進められる体制づくりを推進します。

重要業績評価指標（KPI）^{*}

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
防災活動事例の紹介件数 ^{*1} 【年間】	50件	88件	70件	93件
保存食の種類数 ^{*2}	3種類	5種類	6種類	8種類
総合浸水対策 [*] 重点地区の整備進捗率【累計】	5%	94%	100%	100%

本指標について、調整中

主な取組

- 自助・共助・公助の連携などによる地域の減災対策推進
- 浸水しないまちづくりに向けた総合的な浸水対策の推進
- 橋りょうなどのインフラ^{*}施設の耐震化の推進
- 建物の耐震化の促進

SDGsの目標との関連



*1：先駆的な防災活動の取組事例を地域団体等へ紹介した件数

*2：高齢者など多様な避難者のニーズや避難生活状況に配慮した保存食の種類数

犯罪や消費者被害を防止する

基本的な方向性

地域住民が主体となった組織の取組を支援し、防犯意識を高めるとともに、犯罪が起きにくい地域づくりを進めます。また、消費生活に関する情報を提供し、消費者被害の未然防止を図るとともに、消費者トラブルの救済に向けた取組を進めます。さらに、駅周辺の環境浄化に向けた活動や防犯キャンペーン等を関係団体等と連携して行うとともに、市民の安心・安全に対するイメージを向上させるため、効果的な情報発信に取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）※

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
市と関係団体による防犯活動数【年間】	13回	40回	22回	42回
消費生活相談において消費者自らが相手方と交渉できるよう助言した件数の割合	75%	89%	82%	85%

主な取組

- 防犯活動・防犯設備の充実
- 治安イメージ向上の推進
- 安心・安全な消費生活の支援

SDGsの目標との関連



交通安全対策を推進する

基本的な方向性

事故から身を守ることができるよう、交通ルールの遵守や自転車マナーの向上を図り、市民の交通安全意識を高めるとともに、日常の移動手段として多くの人に利用されている自転車の安全な走行環境をつくります。

重要業績評価指標（KPI）※

指標名	計画策定時 (2014)	実績値 (2018)	目標値 (2019)	目標値 (2023)
交通安全教室の開催数【年間】	200 件	224 件	210 件	230 件
平塚駅 3km 圏の自転車ネットワーク整備率【累計】	3%	24%	33%	70%

主な取組

- 交通安全対策の推進
- 自転車を利用しやすい環境づくり

SDGs の目標との関連



